

令和 6 年度文部科学省「特定分野に特異な才能のある児童生徒への支援の推進事業」
研修パッケージ④ 教員志望の大学生とともに特異な才能のある児童生徒を
包摂する授業を考える
振り返り資料

Step. 1

- (1) 教員志望の大学生は、細部まで多様な視点から物事を考えることができる一方で、わかったことや気になったことをすぐに口に出す児童について、授業中の対応や支援を話し合っていました。そうした子供に対してどのような対応や支援が考えられますか、具体的にいくつか挙げてみましょう。

- (2) 教員志望の大学生は、小学 3 年国語「くらしと絵文字」の授業において、和式トイレを意味する絵文字  の意味を批判的に考えることができる子供を想定した授業の調整を考えました。その子供が他にどのような意味を考えると想定していたでしょうか。

Step. 2

文部科学省の令和 5 年度、令和 6 年度「特定分野に特異な才能のある児童生徒への支援の推進事業」の一つとして、「特異な才能のある児童・生徒の特性を把握するツールや特異な才能のある児童生徒の支援に資するプログラム等のデータ収集・整理」が実施されています。その報告書（令和 5 年度報告書：https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/169/mext_00006.html）なども参考に、大学、民間団体等により継続的に行われているプログラム、イベント、コンテスト等について情報を収集しましょう。そして校内の他の先生方と共有し、整理してみましょう。それらを学校内に掲示したり、それぞれの分野に関心が高い児童生徒に声かけをしたりすると、挑戦する児童生徒が増えるでしょう。